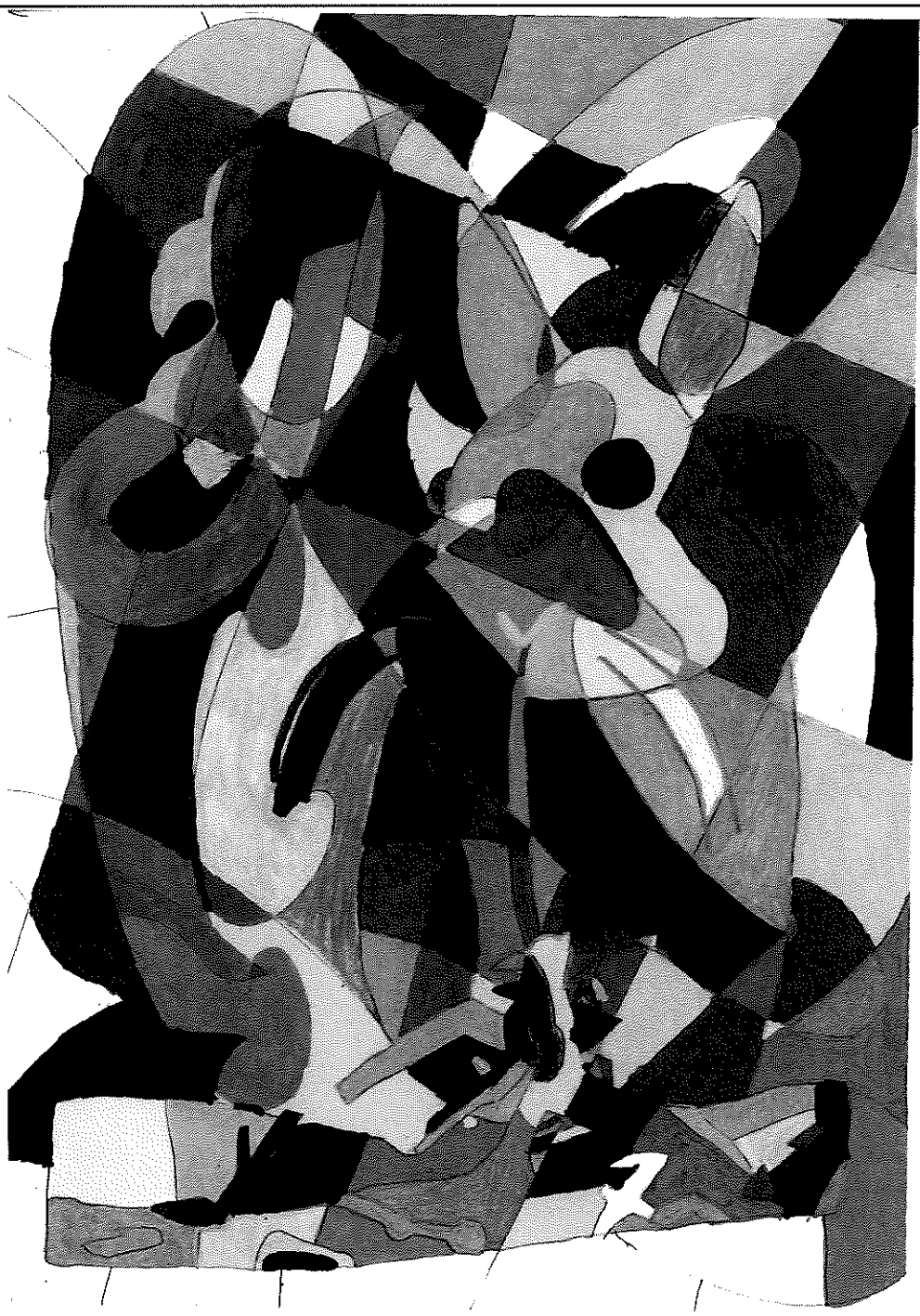
第３種郵便物承認ＫＳＫＱそよかぜ通信通巻 11277 号 2026 年 9 月 16 日発行（1）

KSKQそよかぜ通信 NO.208

E-mal:minoh-soyokaze@song.ocn.ne.jp



封筒に使用した takesi さんのイラストです。うさぎのイラストをカーブ定規などで区切ってペイントしています。
カラーでお届けできないのが残念ですが、きれいな配色です。
完成したイラストはカラーでカンレンダーの表紙予定ですので、ぜひご購入くださいね。

一九九一年九月三日第三種郵便物承認毎月（1・2・3・5・6・8の日）発行

「泰然自若を こころがけて」

月日が流れるのも早いもので、皆様の手元にそよかぜ通信が届く頃は9月の上旬で、まだまだ厳しい暑さが続いていると思われます。ここ数年続く暑さ「夏日」「真夏日」「猛暑日」と続き、新たな暑さを例える言葉として４０℃を超えた時に使われる「酷暑」という言葉をよく耳にすることが増えました。暑い日が続くと気力・体力と削られてしまい体調管理も難しいと思われます。皆様におかれましてはどうか健康には気をつけて日々を過ごして下さい。

挨拶が遅れました。上村です。２０２６年４月から新体制でＳＴＡＲＴいたしました「そよかぜの家」ですが、あれから少しの時が経過して6ヶ月程が過ぎようとしています。今まで多くの方々から温かい目で見守って頂き、又、様々な形での支援してもらい、更に多くの励ましの言葉を頂いたことが、そよかぜの家の利用者さん達、支援員の一番の力になりました。改めて、そよかぜの代表として、そよかぜ通信の文面からになりますが、お礼の言葉を皆様にお伝えさせて頂きます。

「そよかぜを支援して頂いている多くの皆様、本当にありがとございます。新しく生まれ変わろうとして産声を上げたばかりのそよかぜの家ですが、出来る限り多くの方々の支援を必要としているのが現状ではあります。そよかぜの代表である私自身、まだまだ至らない所が数多くありますが、今後も末永く温かい目で支援して頂きますよう宜しくお願い致します。」

さて、ここからは、私自身から少しでも私の今の想いを皆様方に伝えることができたらなぁ～と思いペンを走らせようと、否、パソコンのキーボードと向き合います。

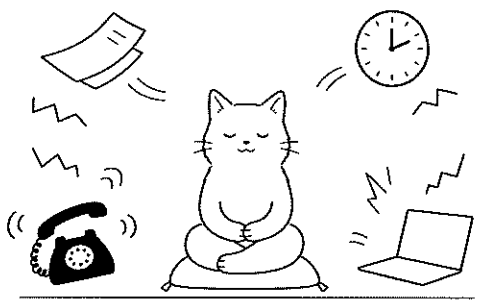
先ほどにもお伝えしましたが、新体制がＳＴＡＲＴとして6ヵ月程が過ぎました。私自身、そよかぜの代表として右も左もよくわからない事や知識不足・勉強不足と様々な点から、つまずき、イラついたりと本当にそよかぜのみんなには色々な面で迷惑をかけていると感じており、反省ばかりの日々ではあります。ただ、反省ばかりをするのではなく、何か？壁にぶつかった時、自分自身の中で問題が起きた時に「解決」「改善」を目指して行動をしていかなければと思っています。

ただ、思う事は誰にでも出来る事なので行動を・・・その時に私自身の気持ち「心」の持ちようは、どうあるべきかに思いを馳せます。そこで、今の自分に必要な心のもちようは何か？頭の中をフル回転して・・・

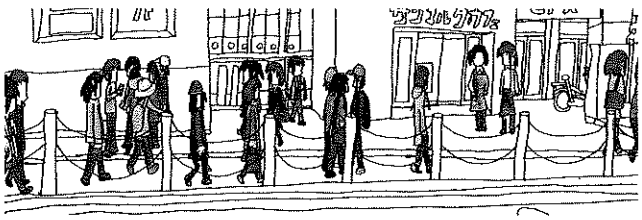
私なりに導き出した答えは「泰然自若」という四字熟語でした。泰然自若とは、落ち着いていて、どんなことにも心が動じない様子。いつもと同じ穏やかな心を保つこと。

本当に現状の私自身に必要なことであるなぁ～とつくづく考えさせられました。現状の「そよかぜの家」は、私自身が思い感じている事は、新しい家を建てる際の土台造りの真最中かなぁ～と感じています。新しく生まれ変わる時には、様々な困難があると思っています。しかし、前向きにゆっくりと時間をかけながらでも一歩一歩前進していける様に、利用者さん達、支援員さん達と力を合わせて頑張っていけるように努力をしてまいります。

上村　真一



～そよかぜの日々と自分～



只今、季節は夏で暑い日が続いております。通信が届くころには過ごしやすい日々になっていることを願いつつ2回目の通信を書かせていただいております。

僕がそよかぜに来させていただいて4ヵ月が経ちました。この間、自分事やそよかぜでの事、様々な日々を送ってきました。そよかぜの日々は、一日が過ぎるのが本当に早く感じております。皆さんのお名前もようやく覚えられることができました。

朝、皆さんがそよかぜに来られ、おはようございます！やハイタッチの挨拶で一日がスタートします。販売へ行かれる方、そよかぜ内での室内作業、kaze でのリサイクルショップとそれぞれのコースに分かれて作業をされておられます。販売の方は特に暑い中、支援員の方が皆さんの体調に注意し水分補給や声掛けをしながら取り組んでおられます。リサイクルショップでは、マネキンの服を着替えさせたり、値段の貼り換え、掃除などされておられます。そよかぜ内では、これまでの作業や新しい作業など、一つ一つ丁寧に皆さん、それぞれのペースで取り組んでおられます。

日中、僕自身も皆さんと一緒に作業をさせていただきながら、これまでのそよかぜのことを教えてくれたり、休日の予定の話など色々な話をしながら作業をしております。顔の表情や目線、ハイタッチ、時々見せてくれる笑顔など、話すというコミュニケーションだけでなく、皆さんそれぞれのコミュニケーションの取り方があって、もともとコミュニケーションを取るのが苦手な僕に取っては様々なコミュニケーションのおかげでとても楽しく作業を進められることができています。また、コミュニケーションを通して皆さまお一人お一人のことを教えていただいたり知ることで、どのように関わっていけばよいのか少しずつ見えてきた気がしております。自分自身の振る舞いや姿勢など、見直すべきところは見直し、日々新たに関わりながらそよかぜで過ごせていけたらと思っております。

日中作業以外では、関係者の方や支援者の方、ご家族さまともお会いできる機会が増えてきております。これまで様々な支援の場に関わらせていただいてきましたが、どこに居ても変わらずにその時その場所でそれぞれのできることをされ、お一人お一人の関わり、お力があっての皆さま、僕たちであると改めて感じております。今後も僕や皆さまと関わっていただける時間が増えていくことを願っております。

話は変わり自分事になりますが、自分自身、これまで沢山の失敗を繰り返してきました。失敗をした時、真っ先に思うことは「なぜ自分ばかりが悪いのか」といつも感じていました。悪いところとそうでないところがあるし、このようになった理由だってあるのにと、頭ごなしに言われたり。言われるタイミング、いつも自分の間違いや失敗を認められず、正当化ばかりで、心が疲れるばかりでした。正当化をする癖は残っていて、毎日、自分に疲れてしまう時がいまだにあります。そんな時、少し立ち止まって自分自身のことを振り返るようにしています。自分の側だけを見ていき、間違えや失敗を受け入れ認めるようにしています。僕自身、まだまだ半人前で生きづらさと直面しながら日々を送っておりますが、少しでも成長できるよう今日を新たに過ごしていこうと思っております。

鈴木　悠介



「みんなでステップアップ」

パン等の移動販売を担当しております小林です。

小林コースは、長く同じ販売先に同じメンバーで周らせて頂いているので、販売先の方々と利用者さんたちのコミュニケーションが多くみられ笑いの中で皆様からの声掛けがヤル気に繋がっていることを実感。

又、同じメンバーだからこそ生まれる利用者さん同士の協力や思いやりに成長を感じる喜びとこれからは以前にもお伝えしてきましたが、4月からの〝新生そよかぜ〟は利用者さん、職員共に新しいメンバーが増え、新しい作業等と進化を始めています。

そこで、小林コースの利用者さんにもほかの支援員とのいろんな作業を通して、よりできることを増やし、それらに新しくチャレンジして欲しいと子離れの親心に近い思いで、8月からメンバーの移動をすることになりました。

きっと皆さんステップアップして充実した時間の中で、益々の成長を見せてくれると期待しています。

（頑張れ――！）

他のコースの支援員も同様に利用者さんのことを考え、試行錯誤しながら動いていますが、いつもご協力、ご支援いただいております皆様からもご意見、ご希望等、今後の〝そよかぜ〟がより心地よい居場所になり、進化し続けられるようお声掛けいただければと思います。

〝みんなでそよかぜ〟

〝みんなのそよかぜ〟です。

小林　薫



「ご挨拶」

まだまだ暑さの残る九月ですが、少しずつ秋の気配を感じられるころとなりました。

日頃より、利用者様・ご家族の皆様・箕面市はじめ地域関係機関の皆様に、心から感謝申し上げます。

利用者様が住み慣れた地域で安心して生活し、自分らしく働き、社会の一員として生きていくためには、温かい御支援と日々のきめ細やかな取り組みが欠かせません。

一人ひとりの個性や可能性を大切にし、その人らしい人生を応援していくことが、これからますます大切になっていくと思います。

私自身も皆様のお声をしっかりと伺いながら、誰もが安心して働ける環境に力を尽くしてまいります。

これからも、皆様と力を合わせ、一人ひとりが笑顔で働ける支援を目指してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

そよかぜの家　榎本　和彦

「共有と共感そして小さな感謝」

この度、そよかぜの家の正規職員として勤務させていただく「木戸」と申します。

まだ試用期間ですが、4月からドライバーをさせていただき、この出会いもご縁だと感じております。

お盆休みは、2回釣りに行きました。暑くて疲れますが、何故かまた行きたくなるのは、自然に心が惹かれるというか、魚を捕る楽しさと同時に海を眺めたり、波の音を聞いたりしながら、心身が整うからなのでしょうか!?

そよかぜの家のことは、まだまだ理解不十分だと感じますが、お一人お一人の純粋さや形にとらわれない表現など、感動や癒しを受けることも多く貴重な環境だと感じています。

大変なこともあるのは当然ですが、それ以上に共有や共感、小さな感謝を受け取れるように取り組みたいと思います。宜しくお願い致します。

木戸　文彰

「そよかぜの家の日常…」ひとコマ

そよかぜの家を利用された日は、メンバーの半分ほどの方が、その日あったことを書いています。いわゆる、「そよかぜの家利用日記」みたいなもの。

8/5（水）

今日は、はこの作業をしたりタオルの作業をしました。お昼ごはんは、豚肉の味噌焼き弁当を食べました。美味しかったです。午後から、絵を書く作業をしました。

8/6（木）今日は、ふくをきせかえました。お昼ごはんは、親子丼を食べました。美味しかったです。午後から、絵を書く作業をしました。

8/7（金）今日は、パンとおまんじゅうの販売をしました。お昼ごはんは、ミートソースパスタを食べました。美味しかったです。午後から、さいとに行って販売をしました。

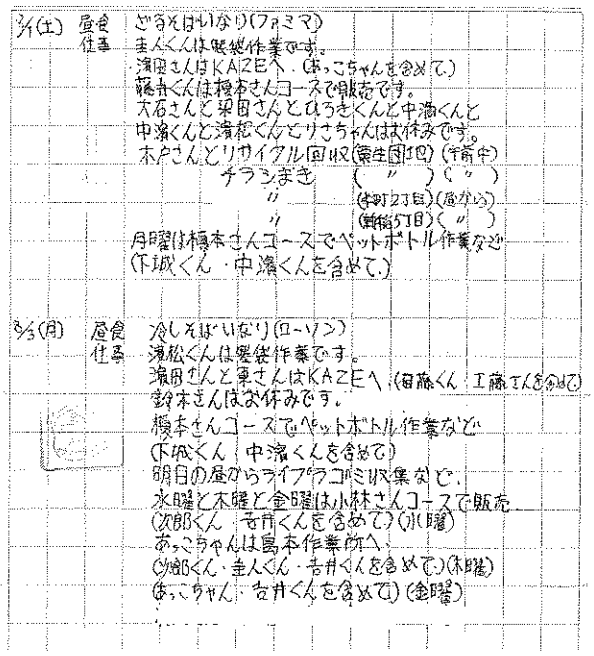
8/17（月）

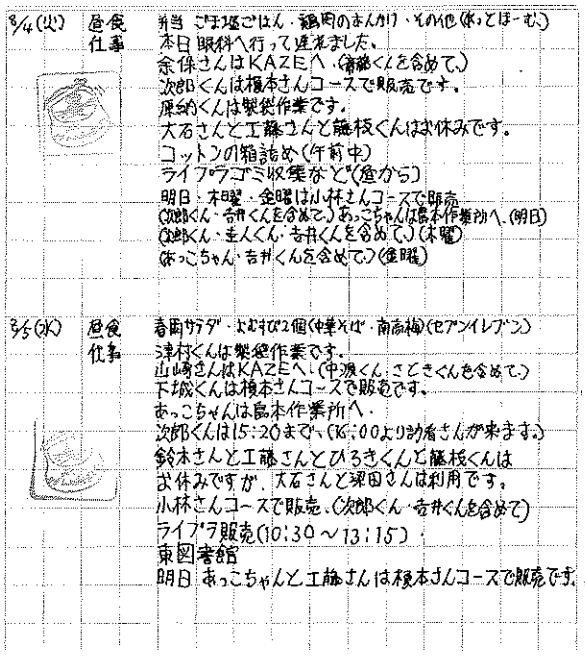
今日は、絵を書く作業をしました。お昼ごはんは、回鍋肉弁当を食べました。美味しかったです。午後からも、絵を書く作業をしました。

8/18（火）今日は、リサイクルがいしゅうをしたりちらしまきをしました。お昼ごはんは、春巻き弁当を食べました。美味しかったです。午後から、ゴミがいしゅうをしました。

多くの方は、今日食べたメニューを必ず書いてますね～。みなさん、食べることが大好きだからかしら？と思いながら、書いた日記を、帰る前に読んでほしい支援員に読んでもらって、その日の活動の感想を聞かれてます。

日記にも、それぞれ性格（個性）が出てます。





「アート」だっ!!

暑いですねー

ホント、毎日毎日うだるような暑さに参ってしまいます。

でも、こんな暑い中でも「そよかぜの家」メンバーさんたちは毎日活動して、各コースの支援員たちが、熱中症に気を付けて活動しております。

「そよかぜの家」は移動販売やリサイクル回収など、メンバーさんたちとの車移動が多いのですが、大体３ー４名＋支援員で乗車するので、体の大きい人たちが集まれば車の中は大渋滞！！窓全開で開けて走ったほうが、〝まだましなんじゃない？〟と思うくらいクーラーもなかなか効かないし、日々の送迎や移動で車の疲労も半端ない…。故障の連続です。

小さい事業所にとって、車輌は頭（事業費）を悩ませるひとつですね～。

さて、もう９月。秋が近づいてくる時期でもありますが…暑さは続く。そして、涼しくなってきたなと思えば、冬。忙しくなってきたと思えば、年末年始となり、はや一年と年明けです。

そこで、今年も「そよかぜの家・オリジナルカレンダー」です。今までとは、少し違った形でのカレンダーに仕上げたいと思って、メンバーさんたちと一緒にどのように作り上げていこうかと、新しく支援にはいっていただいているパートの大石さんと一緒に〝あーだ、こーだ〟と言いながら楽しんで制作しております。イラスト部分はまだひとつもできていないのですが、ベースのカレンダーはメンバーさんに打ち込んでいただいて、あとは祝日などしっかりと確認するだけとなっています。１０月以降の通信で掲載しようと頑張っておりますので、皆さまに見ていただいて「そよかぜの家」のアートを楽しんでいただけたらと思います。

ぜひー手に取っていただけると嬉しいです。

もうひとつ、嬉しい出来事がありまして…。毎年１１月に開催している「大阪府社会福祉大会」における会長表彰の記念品に提案企画書を応募したところ、メンバーさん二人が描いた『赤い車のうさぎ』のエコバッグが採用されました。枚数は１２００枚ほどと大口の注文で、自社の布専用のプリンターで印刷します。住之江ボートのハンドタオルやアイシティのノベルティ、個人注文など忙しくなります。嬉しい悲鳴ですが、またまた自分でも何をしているのかわからない、追い込み状態になります。刺繍（ミシン）や糸処理などを職員がやってから、メンバーさんに梱包とシール貼り・紹介カードの挿入・検品をしてもらっています。

この「そよかぜの家」オリジナル事業。陶芸事業に代わって、いろいろな〝アート〟作品を作り出していきたいと思っています。

木戸さんが通信の中で述べているように、メンバーの純粋さや形にとらわれない表現力を生かして、「そよかぜの家」のメンバーがアーティスト。

なぐり描きも自分の選んだ色を組み合わせれば、ほら、アートに！

筆が使いづらい人はスポンジを使って好きな色を好きな場所に押していったら、ほら、アートだ！

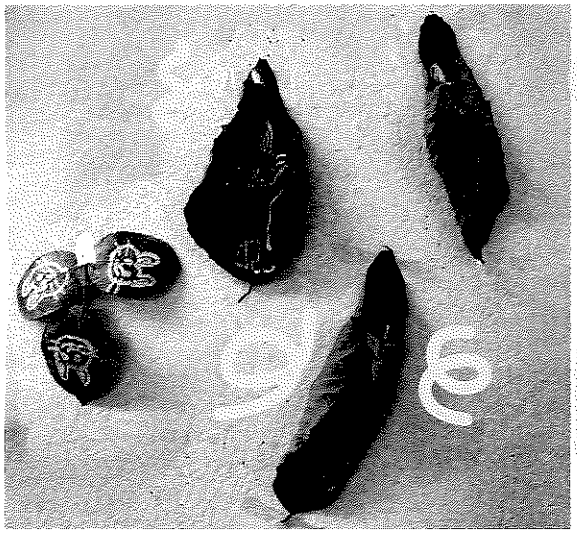
ん？っというようなイラストも他の人のイラストとコラボしたら、ほらアートでしょ！

みんなの〝アート〟がいろんな物に商品化していって、いろんなひとが喜んでくれるといいな…。という感じで事業としてやっていきたいと思っています。

まだ新しい体制になったばかり。山あり谷ありは当たり前だと言い聞かせて、涙をこらえて歯を食いしばって、その先の笑顔に向けて、さぁ！いろんなことにチャレンジしよう！

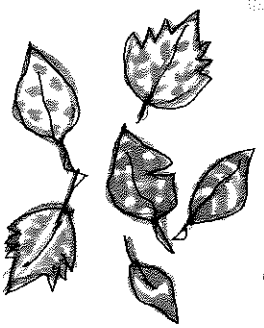
そよかぜの家　保田　かおり

Art de SOYOKAZE



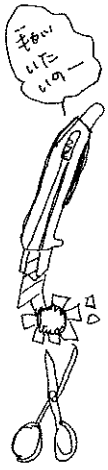
イラストを描く前にキレイに汚れを落して
ライロンで葉っぱを
平らにします。

葉っぱアート



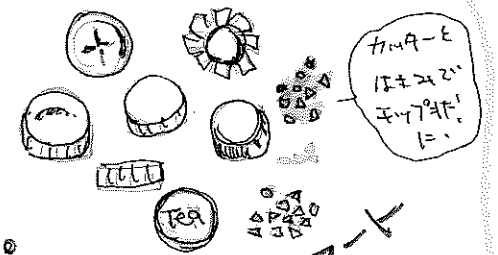
はっぱに
ペイント。
これが、けっこう
楽しい。はっぱの
色の変化とイラスト
同時に楽しめます。
肉厚な葉っぱ
集めてます。
大きいのが描きやすいので
大きくて肉厚葉っぱ求む!!

ご近所のちください!



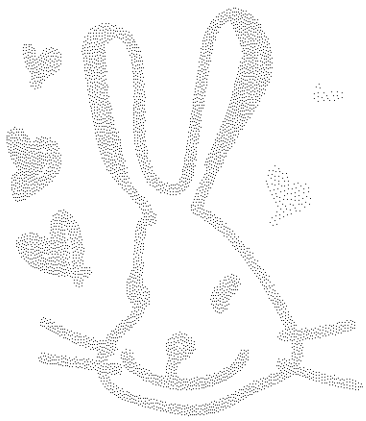
捨ててしまうペットボトルキャップ。細かくカットします。

カットしたキップを配色して
ライロンで
ぎゅーとプレス。
さあ! なにつくろ!



プットボトルキャップアート

「しおり」「キーホルダー」
「ピアス」可能性はたくさん!!
でもね… 細かくカットするのとても大変。誰か
いい方法知っていたら レクチャーしてください!!

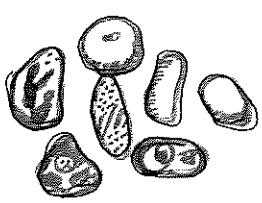


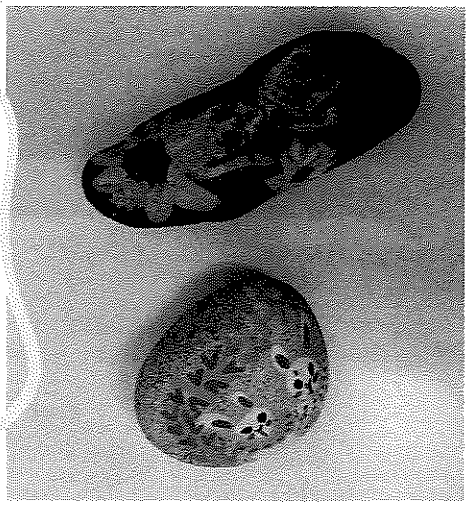
いろんな形の石。じーっと見て これ何になるかなあ?
ゴリラ? カメレオン? キャベツ?

ストーンアート

想像力をはたらかせて
さあ! ペイント。
カラフルにかわいく
仕上げたら、
はし置き、ペーパーウェイト、
置き物にもなる。

たわしで
汚れを落して
乾かして
どんな
作品に
なるかなー。

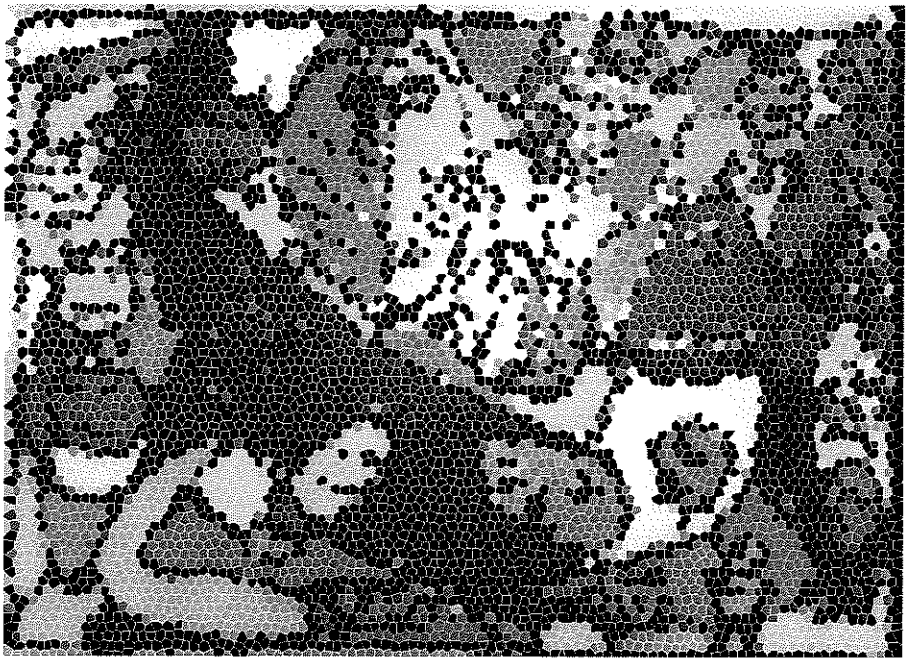




編集人　特定非営利活動法人そよかぜ　理事長　上村　真一
連絡先　〒五六二―〇〇四三　箕面市桜井３丁目８番２号　特定非営利活動法人そよかぜ tel（０７２）七二二―六一六一 fax（〇七二）七二二―四八七六
振込先　郵便振替〇〇九八〇―〇―三一八三三三特定非営利活動法人そよかぜ
定価一〇円

発行人　関西障害者定期刊行物協会　〒五四三―〇〇一五　大阪市天王寺区真田山町二―二東興ビル　四階
一九九一年九月三日第三種郵便物承認毎月（1・2・3・5・6・8の日）発行

2027 年「そよかぜの家・オリジナルカレンダー」の内容を少しだけご紹介



皆様からたくさんの「いいね！」って言っていただけるように、頑張ってます。
楽しみにしておいてくださいね。

ひとりごち

編集後記

内職作業をいろいろ請けているのですが、会社によっては同じ作業ばかりではなく、やっと慣れてきたと思ったら、新しい作業をはじめなければいけなくなったりと、きちんとした状態で納品するのに支援員のフォローは欠かせません。
でも、慣れも怖いのです…。慣れてきて、「大丈夫、大丈夫」と言ってるので、見守りの目を怠ると、先方様からのお叱りが…。
「お金を支払っている以上はしっかりとした商品を納品してもらわないと!!」…仰る通りです。賃金をもらっている以上は、健常者・障害者と関係ありません。しっかりと指示されたとおりの商品を納める。当たり前のことです。
指摘されたことは、職員同士で話し合い、注意されたことを携わっているメンバーそれぞれがどうすればできるのかを考慮しつつメンバーさんにも指摘されたことをしっかりと伝えて皆で共有します。
きちんと仕事をした商品を継続して納品することで、信用も信頼も築くことができ、良い評価をしていただくことで、次の仕事にも繋がっていくものだと思います。
さぁ、某お引越しのコマーシャルではありませんが、「仕事きっちり！！」をやっていこうではあーりませんかっ！

INK

minoh-soyokaze@song.ocn.ne.jp